

テーマ：住民の生きがいづくり 対象：地域住民 主催：東広島市川上地域センター

E-⑤ ほったらかしや

子供の居場所としての活用	○	住民相互の学び合い・交流	○	関連施設・施策や民間企業等の連携	○
--------------	---	--------------	---	------------------	---

1 学習プログラムの展開（令和5・6年度）

日 程	場 所	学 習 ・ 活 動 内 容
～令和5年7月 （その後も随時）	東広島市川上地域センター等	<ul style="list-style-type: none"> ○学校に通いづらい子供、未就学児の保護者、子供や親の居場所等についてリサーチする。 ○社協、民生児童委員、子育て・生涯総合支援センター、地域包括支援センター等と事前に連携する。
令和5年7月～ 毎月第1・3水曜日 9:30～13:00	東広島市川上地域センター	<ul style="list-style-type: none"> ○いつでも誰でも出入り可能で、事前申し込みも必要なし。 ○平日昼間に居場所がないと感じる人がふらりと訪れて、思い思いに過ごすことができる。 ・ママ同士でおしゃべり ・ホールで遊ぶ ・保健師に子育て相談 ・読書コーナーで絵本を読む ・お菓子作り 等



対 象	地域住民（未就学児、小・中学生、高校生及びその保護者）
経 費	0円
連携先	小・中学校、他地域センター、社協、民生児童委員、子育て・生涯総合支援センター、地域包括支援センター等

問 合 せ 先	東広島市川上地域センター 〒739-0146 東広島市八本松飯田8丁目19番49号 電話：082-428-0044 ファクシミリ：082-428-0044
------------------	---

2 学習目的

○何にも縛られない自由と居心地のよさを感じ、「好き」や「やりたいこと」を存分に追求する。

3 学習目標（学習目的の達成に向けて、身に付ける力）

○自分の「好き」や「やりたいこと」を見つけて活動しようとする。
○「好き」や「やりたいこと」を通して他者とかがわろうとする。

4 事前に必要な知識や準備物

○地域の実情をリサーチする。（学校に通いづらい子供、未就学児の保護者、子供や親の居場所等）
○連携先の把握と連携。（社協、民生児童委員、子育て・生涯総合支援センター、地域包括支援センター等）
○参加者のやりたいことに合わせ、必要な物品を準備する。

5 留意点

○「いつでも誰でも参加自由」「ここでは、やらなければいけないことも周りとのペースを合わせる必要もありません。何をするか決めるのはあなたです。」というコンセプトに基づき、活動を参加者に委ねる。
○地域住民との日常的な交流から、ニーズを把握したりボランティアを発掘したりする。
○プライバシーや個人情報について、十分に配慮する。

6 成果

○学校に通いにくい児童・生徒が仲間や地域住民とかがわりながら、自分の居場所を見つけている。
○参加者同士が仲良くなり、子育てサークル活動に発展した。
○趣旨に賛同する人たちにより支援の輪が広がった。
○想定していた以上に大きな波及効果があり、地域の中だけでなく地域外へも活動が広がった。

7 課題

○急激な人口増加と多文化共生への対応が追い付かず、親も地域コミュニティから浮いてしまい、家庭内で課題を抱え込んでしまう。
○新しい住民同士、また旧住民との接点が少なく、誰がどこに住んでいるかという「顔の見える関係」が築きにくい。

8 学びの成果を事業後に生かすための工夫

○必要な人に必要な情報が届くようになるために、コミュニティソーシャルワーカーや民生児童委員など地域に関わる様々な機関との連携が欠かせない。
○施設外の関係各所と連携することにより、活動を支援してくださる方が、地域に出て活躍できる場所を提供する。